

出会ってめいしん 育ててめいしん

～ 人と人が出会い 繋がるまち ～

明新公民館

1 明新地区の概要

福井市の北部、九頭竜川の南側に位置し、芦原街道を挟んで東西に広がる地区である。古来より、九頭竜川を利用した漁業や農業を営み、古い歴史を有する地区と昭和38年頃からの都市計画等により、住宅地として発展してきた地区で構成されている。明新地区には、灯明寺、新田塚、二の宮、舟橋新の4地区があり、それぞれの地区に自治会連合会有る。その4連合を束ねる組織として明新地区自治会連合会有る、いわゆる2階建ての珍しい構造となっている。

人口15,716人、6,569世帯。世帯数は市最大の地区となっている（令和6年5月1日現在）。昭和46年に明新小学校が開校し、その通学区域が明新地区となった。「明新」の名は、中国の古典「大學」にある「明德を明らかにし、民を新たにす」と松平春嶽公の明新館記の中の「夫れ明新の義たる大なり」から名づけられた。

公民館は、昭和50年に開設、平成19年に現在の地に新築された。平成7年に「出会ってめいしん、育ててめいしん」のキャッチフレーズができ、平成11年に明新の頭文字「M」を図案化したシンボルマークが公募によりできた。



2 まちづくり事業

公民館はまちづくり事業の拠点である。明新地区自治会連合会や地域の各団体と連携し住民が元気で生き生き活躍する安全安心な地域を目指し、人気の高いコンサートやウォーキング、歴史講座、防災ワークショップなど地域の特色を活かした事業を展開している。

また、小中学生や若い世代を対象とした講座を夏休み期間中や週末に企画し、明新地区の児童生徒が通う小中学校のご協力もいただきながら参加者を募り、若い世代にも公民館に関心を持ってもらえるよう働きかけている。

明新まちづくり委員会（会長：明新地区自治会連合会会長）との共催で開催している明新地区ならではの事業をいくつか紹介する。

・明新コミュニティルーム「ふらっと」

令和4年10月、図書室を、いつでもだれでも気軽に訪れることができるコミュニティルームにリニューアルした。「ふらっと」の名称は公募で決定した。



これまでの蔵書を整理し、「勝木書店のお薦め本コーナー」や「地域の方の寄贈本コーナー」、キッズスペースを作り、本の貸し出しもできるようにした。

作品展示コーナーを作り、絵画や竹人形などの作品や蝶や甲虫の収集品など地域の方の作品を入れ替えを行いながら展示している。

また、地域の方たちの交流の場として、喫茶店感覚でお茶も飲めるようにした。

令和5年にはクラウドファンディングに挑戦し、小中学生のための図書を充実、自習やグループ学習ができるようデスクライトや椅子などを購入し、環境整備を進めた。自主グループの活動が終わった後のおしゃべり、放課後の学習、小さなお子様連れのお母さんの読書タイムなど、幅広い世代の方にお越しいただいている。

・明新いいね！絵手紙コンテスト

まちの風景や人とのふれあい、地区で体験した行事など明新地区にある「いいね！」と感じたモノを絵葉書に書いて応募する絵手紙コンテストを令和3年から開催している。

きっかけは、コロナ禍で人と人との交流が制限される中で、地域の魅力や地域を支えてくださっている人に「ありがとう」を伝えたいとの想いから始まった。コンテスト参加者を増やすため、コンテストの前に「絵手紙講座」を2回開催している。



また、明新地区の店舗に協賛を募り、応募された方には参加賞として、協賛店で使用できる「地域クーポン券」をお渡ししている。まちづくり事業に民間事業者も参入するという地域挙げての事業となっている。

毎年800点前後の応募があり、作品の中には、見守り隊の方への感謝の気持ちや地域の自然の風景、美味しいお店などなど、多くの心温まる作品が応募され、改めて地域の魅力に気付かされる機会ともなっている。

応募作品の中から、優秀作品を選考しその作品は公民館内の「ふらっと」や地域の郵便局で展示している。



・歴史と文化の交流事業

～新田義貞公の生誕地と戦没地の縁～

新田義貞公の生誕地（群馬県太田市）と戦没地（新田塚）の縁で平成16年から交互に訪問していた歴史と文化の交流事業をコロナ禍が落ち着いた令和5年8月に4年ぶりに再開した。太田市生品小学校の5,6年生19人と交流事業実行委員会の12人が来訪。明新小学校、福井大学附属義務教育学校前期課程の5,6年生21人と交流事業実行委員会のメンバーが公民館でお迎えし、新田

神社参拝後、一乗谷朝倉氏遺跡博物館、翌日は恐竜博物館を見学し、交流を深めた。



令和6年は、明新地区の児童が北陸新幹線に乗って、群馬県太田市に訪問することになっている。

・ジョイントコンサート

明新小学校の卒業生は、灯明寺中学校、藤島中学校、明道中学校の3校に進学する。その3校吹奏楽部の合同演奏会を灯明寺中学校で令和6年3月に初めて開催した。



会場には、約400名の来場者があり、各中学校の個性豊かな演奏や3校吹奏楽部約120名の圧巻の合同演奏に大きな声援を送っていた。

吹奏楽部生徒のご家族や祖父母、吹奏楽OB、介護施設を利用されている方など、小さなお子様から高齢の方まで幅広い世代の方が来場した。

コンサートは令和6年度も開催したいと考えている。

・めいしんゆるキャラ めいしんちゃん 誕生

「めいしんゆるキャラ めいしんちゃん」を令和5年度に公募した。明新地区で公募し、160人の応募作品の中から7点に絞り、文化祭の来場者の投票で最終作品を決定した。



「めいしんちゃん」のプロフィール

誕生日：令和6年2月1日

明新地区のことなら、何でも知っている妖精。体は明新地区の形。（学校や線路、駅、馬渡川がトレードマーク）リボンは九頭竜川でできていて、明新の「め」になっている。

めいしんちゃんは、地域の方に愛され広報やグッズなどに自由に使ってほしいと考えている。「めいしんちゃん」デザイン等使用許諾申請書を公民館に提出すれば使用できる。

終わりに

人口が多く、自治会連合会が2階建て構造となっている明新地区は、人と人との関係が希薄になりがちである。公民館は、子どもから大人まで様々な人と人との出会いの場を作り、繋げていく役割を担っている。

そういった活動を続けていくことが、地域住民が明新地区に誇りをもち、まちが元気になることにと考えている。

「出会ってめいしん 育ててめいしん」のもと、出会いを大切に、人と繋がり、自分を育て、地域で子どもを育て、そして地域（まち）を育てるために、明新まちづくり委員会と協力し、まちづくりの拠点としての公民館の役割を果たし、明新地区の活性化を推進していきたいと考えている。